

小学部



お卒業記念品としてCDケースを作り、各学年に贈ることにしました。タイル・ビーズを使ってモザイク風に飾ったり、一字に思いを込め各自が毛筆で書いたものを貼ったりして、在校生に伝えたい思いを込めました。

中学部



卒業生を祝う全校集会での発表の準備や練習を行いました。一番の思い出である修学旅行のことを発表するために、色を塗ったりコメントを考えたりしながら、思い出を振り返りました。

高等部専門学科



宇城市消費生活センターの相談員の方に来校いただき、「若者がおちいる消費者トラブル」というテーマでお話しいただきました。ネットやクレジットカードでのトラブルについて、解りやすく教えていただきました。

高等部普通科2組



卒業制作として、思い出をビデオにまとめ、DVDを作りました。得意なことや大好きな人たち、授業の様子を撮影し、卒業後もいつでも楽しめるように編集し、DVDにまとめました。

高等部普通科1組



卒業後の生活を見据えて、校外学習や調理実習、経済生活の学習、性教育などの移行支援プログラムに取り組みました。校外学習では、スーツの選び方の講習や買い物学習など貴重な経験をすることができました。

卒業に向けて

日差しの明るさや暖かさに春の訪れを感じる季節になりました。さて、本校では、3月13日(金)に平成26年度卒業証書授与式を挙行し、小学部5人、中学部3人、高等部32人、計40人の児童生徒が卒業を迎えます。短い人で3年間、長い人では12年間、本校で多くの友達や教師と出会い、多くの学びや挑戦を積み重ねて、大きく成長しました。卒業後の進路は、就職、施設等の利用、進学等、さまざまですが、自信を持って、周りの人への感謝の気持ちを忘れず、元気に活躍してほしいと願っています。地域の皆様にも日頃から本校児童生徒を温かく見守り、支えていただき、ありがとうございました。



きらり☆
松橋支援学校
広報誌

第30号
平成27年
3月発行
熊本県立
松橋支援学校
〒869-0543
宇城市松橋町
南豊崎252
Tel 0964-32-0729

平成25・26年度

文部科学省指定研究発表会

2月20日に研究発表会を行いました。

昨年度から「知肢併設特別支援学校における各教科にわたる個別の指導計画を活用した効果的な授業研究の在り方に関する研究」というテーマのもと、学校全体で取り組んできました。県内だけでなく、県外からも多くの方に参加していただき、160名を超える参加がありました。午前中は本校の取組の概要を説明し、実際に授業を見ていただきました。午後の分科会では、本校の取り組みについて報告し、児童生徒がよりよく学ぶことができるための授業改善についてなど、助言者の先生も交え、意見交換を行いました。他校からの御意見や助言等多くいただき、とても有意義な研究発表会となりました。今回得たことを今後につなげ努力していきたいと思ひます。



くまもとーICTコンテスト

高等部普通科1組で製作した映像作品「松支ドキュメンタリープロジェクト」水俣が教えてくれたこと」が、「くまもとーICTコンテスト」において最優秀賞及びNEXT熊本賞を受賞しました。2月17日に、熊本市内で表彰式が行われ、生徒代表が参加しました。生徒たちは、約1年半にわたり、水俣について多方面から学習をしてきました。他校との共同学習による同世代の意見交換、語り部さんの来校、現地視察など、多くのことを学んできました。今回の受賞作は、長い期間に及ぶそれらの映像をまとめた作品です。PC関係の仕事希望している生徒も多くいます。さらにICTを活用し、社会貢献できるよう頑張っていきたいと思ひます。



城南地区高校駅伝大会

1月31日に熊本県城南地高等学校新人駅伝競走大会

が天草市の本渡運動公園陸上競技場発着で行われ、本校からも専門学科、氷川分教室の生徒7人が参加しました。城南地区の高校27校31チームが参加し、6区間20kmを競いました。初めて1・2年生だけでの参加でしたが、落ち着いて自分の力を出して、27校中24位という結果を残すことが出来ました。



進路学習会

2月6日に、高等部2組の進路学習会を行いました。昨年度の卒業生4人と保護者の皆さんを招いて、座談会形式で行いました。卒業後の施設での生活や余暇の過ごし方などの話を聞きました。在校生からもたくさん質問があり、盛り上がりました。卒業生の皆さんも、久しぶりの学校の雰囲気懐かしみながら、終始笑顔で過ごしていました。



氷川分教室だより

2月14日にうまかなよかなスタジアムで開催された、熊本中央ライオンズクラブ杯障がい者駅伝競走大会に出場しました。7人の生徒でチーム

を作り、その内の代表5人が5区間合計約10kmを走りました。走る前の入場行進では緊張している様子でしたが、走り始めるとたくさんの声援を受け、1秒でも早く次走者へつなぐと一生懸命に走りました。結果は37分30秒で、42チーム中の4位と好成績を収めることが出来ました。

